



## 発行にあたって ～Powered by AIをテーマに～

### Introduction

デジタルハリウッド大学 学長

杉山 知之

President Tomoyuki Sugiyama

1987年よりMITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年 国際メディア研究財団・主任研究員、93年 日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月 デジタルハリウッド設立。2004年 日本初の株式会社立「デジタルハリウッド大学院大学」を開学。翌年、「デジタルハリウッド大学」を開学し、現在、同大学・大学院・スクールの学長を務める。2011年9月、上海音楽学院（中国）との合作学部「デジタルメディア芸術学院」を設立、同学院の学院長に就任。福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議会長、内閣官房知的財産戦略本部コンテンツ強化専門調査会委員を務め、また「新日本様式」協議会、CG-ARTS 協会、デジタルコンテンツ協会など多くの委員を歴任。99年度デジタルメディア協会 AMD アワード・功労賞受賞。  
<https://www.facebook.com/SugiyamaStyle>

『DHU JOURNAL - デジタルハリウッド大学 紀要』の3号目が発刊となりました。今年のテーマは2015年に開催された「近未来教育フォーラム2015 Powered by AI」です。

生活の隅々にデジタルテクノロジーが浸透し、世界中といつでもつながることができるようになった現代、劇的なスピードで変化する21世紀に求められるのは、グローバル感覚を備え、デジタルコミュニケーションを駆使できる人材です。本学の教育はコンピュータとそのネットワークで構築されたデジタルコミュニケーションの世界を基盤として、その上に「何か」を創造することに重きを置いています。自分の創る「何か」が世の中にどのような影響を与えるのかを考え、より使いやすく、美しく、楽しいものを生み出し、人々の未来生活に役立てながら、さらに人間に新しい価値を与えることを目指しているのです。

今回のテーマである「Powered by AI」、そのAI=人工知能の活用はもう夢物語ではありません。人工知能の発展は現在の社会生活を大きく変え、現在、人が行っている多くの作業がリプレイスされるでしょう。人工知能の活用が本格化する新しい世界で、人間はどうあるべきか？ 人間がすべき領域は何か？ など様々な疑問が湧いてくることでしょう。人工知能の発展は、人間の本质への問いかけでもあるのです。

このたび完成した本学の紀要は、本学教員、研究者、大学院生が行った幅広い研究開発活動が集められています。本誌を媒体として、広く読者のみなさまのご意見を頂戴し、研究開発活動に役立てていく所存であります。